

## まず、行動する

とにかく行動することが大切です。  
行動してみないことには進まないからです。

行動してみて初めて「何が必要なのか？」見えてきます。

そうってからようやく「アルケミアトレードクラブで書かれていることの中に解決のヒントがあるな」と気づけます。

**行動しなければ何もわかりません。**

## 始めてから三か月間が勝負だと思う

「まずじっくり見極めて、それから行動に移そう」  
「半年、1年以上かかってもいいからじっくりかけていこう」

そういった考えもあるかもしれませんが、それだと  
今までの行動を変えるまでにはいかないことが多いです。

新しい何かを身に付ける時、習慣化する時は  
「最初の三ヶ月で勝負しよう」という気迫が必要です。

**勢いをつけていくほうがいいです。**

今までの自分を捨てる、自分の考えを制限せずに  
自分の中で勝手に作られていた契約書を破ってください。

物理的なものも、感情も手放すことでシンプルになっていきます。  
物に執着しないことで感じられる心の安定感を身に着けていきます。

利益が出るシンプルなルールを見つけてデモトレードで利益を出す。  
リアルタイムのデモトレードで利益が出ることを確認する、

ここまでを1～2ヶ月でやってしまってください。

**やるしかないのです。**

## 何を目的にしているのか？

トレードだけで生活することを目的にしているのか？

仕事をしながらトレードでも稼ぐためにやっているのか？

目的をはっきりさせてください。

「なんとなく、トレードすればお金が稼げるらしい」

では、意味がありません。

「まずは経済的に自立するためにトレードで

年収1000万円を目指す。

そのためにはどうすればいいのか」

「一億円稼ぎたい。最短で稼ぐにはどうすればいいのか」

仕事をやりながらトレードをするなら、チャートを見れない  
時間帯で取引しても練習の意味がありません。

取引できる時間帯で過去チャートを使って練習する、

トレード回数はどのくらいになるのか、最大ドローダウンは  
いくらなのかといったものをイメージしながら取り組みます。

最初は取引時間を制限せずに全てのチャートで練習しますが、  
それが終わったら次に何をすればいいのか考えながら進めます。

実際取引した時にどういった資金管理でいくのか  
しっかりした戦略を立てるためです。

「この期間で練習しなさいと言われたからやっている。」  
とやっている、何を目的にしているのかわからないので  
最終的にしっかりした戦略を建てる土台を作れません。

何を目的にやっているのか？

ラインを引くスキルを身に着けるためにやっているのか？  
実際取引することをイメージしてやっているのか？

**「目的」を必ずはっきりさせながら進めていきます。**

自分なりに良く考えて、それでもどうしても  
わからない時は聞いてください。  
他人の意見を聞くことで、解決法に気づいたりします。

最初から「聞けばいいや」だと力にならないので、  
「他人に質問する時はどうしてもわからない時だけにする」  
と決めておいてください。

こういった理由で「目標達成コンパス」が  
重要になってきますのでまだ作成していない時は  
必ず真剣に考えながら作成しておいてください。

決めたことは変わっていてもいいです。

「決めてしまったから絶対にそこにたどり着かなければならない」  
というわけではありません。  
途中まで進んでみてもっといい方法が見つかれば、  
そちらに変えてもいいのです。

「毎月10%の利益でいい」という人もいるでしょうし  
「それでは全然足りない」という人もいます。

どちらが正しいということではなく  
あなたの目的のためにやってください。

基本的なトレードルールというものはありませんが、実際には  
同じトレードルールでも人によって解釈が少しずつ変わってくるので、  
最終的には違ったルールになっていくと思います。

「正解はない、自分のルールがあるだけ」と思って進めてください。

トレードで稼ぐために色々な目標が考えられると思います。

家族のため、困っている人のため、社会のため、  
といった目標を考えることもあると思います。

でも、それだと力が出ない可能性が高いです。

## 自分を満足させる

最初は自分のやりたいことのために頑張ってください。

最初の目標としては、人には言えないような  
欲望を満たすためでもいいです。

「高級車に乗りたい」「全身ブランド品を身に着きたい」  
「金持ちになって女性にモテたい」

人に言う必要はないので、まず、あなた自身を  
満足させる目標を作ってください。

家族や他人のために頑張るのは、  
あなた自身が満足できてからで十分行えます。

「どうしても叶えたい、命を賭けてでもやりたい」  
と思うことを目標にする方が実際に資金を運用した時に  
うまくいく確率が飛躍的に上がります。

自分の軸を持つ

トレードをやる上で、ルールを守る必要があります。  
しかし、ルールを守ることが目的になってはいけません。

最初はルールを守ることで利益が出ることを確認します。

練習するうちに、ルールをきっちり守らない方が  
利益につながる感覚が出てくると思います。

そうなった時に

「決済まであと1ピップスあるから  
到達するまで決済できない」

「決済したいけどルールではサインが出てない。  
利益はドンドン減っていったる」

「決済したいけどルールではないから  
損切になるのを黙ってみている」

そうではなく、感覚に従ってもいい、ということです。

ルールには従っている、ルールを守る範囲が感覚的になる、  
という感じです。

具体的なルールの解釈から、抽象的なルールの解釈に変化していくということです。

感覚的にトレードして利益が出ない時は具体的なルールの解釈が間違っているからです。

その場合はきっちりルール通りにトレードする練習をして感覚を養っていきます。

1万通貨のトレードでやっていることと、1000万通貨のトレードでやっていることが同じ行動になるようにルールを守っていける自分の軸を作っていきます。

ルールが出る利益づくりの段階で利益が出せないのは、チャートをどういう風に見ているかに注目してください。

トレードすることが目的になっているとどんな場面でもチャンスに見えてしまいます。

「今は視野が狭くなっているな」とまずは気づく必要があります。

そこに気づいたら次の改善策を考えることができます。

一つのトレードで一喜一憂するのではなく、同じような場面で同じような判断をすれば結果としてトータルで利益に繋がるんだということを繰り返し練習して確認することで無意識レベルまで落とし込んでいってください。